

## み AEL ENJOY LIVE～ふれ愛 FES2021～ みんなで作る賑わいの場



▲1・2 青空の下、さまざまなジャンルの音楽が鳴り響く 3 ライブペインティングで会場を盛り上げるJIROさん 4 ワンちゃんと間近で触れ合う来場者

5月9日、文化会館アエルで「AEL ENJOY LIVE ～ふれ愛 FES 2021～」が開催されました。音楽での交流を通じて来場者に楽しんでもらうことを目的に、各地で活躍している幅広い年代のミュージシャン9組が出演。来場者は手拍子をしたり、音楽に聞き入ったりと、青空の下で歌声や演奏を楽しみました。(写真1・2)

画家JIROさんによるライブペイントでは、「イキル」をテーマにした作品が披露され、会場を盛り上げました。(写真3)

動物ボランティア「NPO法人その小さいのちを守りたいプロジェクト」によるワンちゃん譲渡会が行われました。(写真4)

## コ 田んぼアート菊川2021の田植え コロナウイルス終息を願って

5月16日、水田を巨大なキャンバスに見立て、絵を浮かび上がらせる「田んぼアート」の田植えが下内田の稲荷部地区で行われました。今年も新型コロナウイルス感染症の影響で、「田んぼアート菊川実行委員会」の関係者80人で実施。今年の絵柄は新型コロナウイルス退散の願いを込めたアマビエで、常葉大学造形学部の学生による10点のデザインの中から選ばれたもの。

参加者は水田に入ると、図柄通りに張られたロープに沿って白や赤、緑などの8種類の古代米の苗を植えていきました。



▲1 目印に沿って苗を植える 2 慎重に植えることが成功の鍵

## 茶 友田の茶園で新茶摘み の歴史を肌で感じる

5月9日、友田地内の茶文字で新茶摘みが行われました。深蒸し菊川茶のPRと、地域活性を目的に、市茶業協会が開催。茶文字はJR東海道線の菊川駅から金谷駅の北側の山腹に、茶の木で「小笠茶産地」と書かれています。明治時代から100年以上生育する在来種の茶園で、菊川のお茶の歴史を伝える貴重なもの。NPO法人菊川まちいきや地元住民など12人が、およそ4キロの茶葉を丁寧に摘み取りました。

摘み取った茶葉は、同日中に菊川茶手揉保存会により蒸し工程まで行われ、冷凍保存されました。



▲ 菊川茶発展の歴史に触れ、茶を摘む